

演題

歯科技工士の技術がつなぐ新たな可能性

抄録

歯科技工士として、エピテーゼ専門ラボ「エピテーゼクリエイイトラボ rinto」を開業し、顔面や体表面の補綴装具の製作に取り組んでいます。

歯科技工士というと、歯科補綴装置を製作する職業というイメージが一般的ですが、歯科技工士として培ってきた知識や技術は、その枠を超え、医療や社会のさまざまな場面で活かせる可能性を秘めています。

本講演では、歯科技工士としての歩みや開業に至る経緯、開業準備や事業運営の中で経験した苦労、そして開業したことで広がった人とのつながりや新たな挑戦、仕事を通して得られた喜びについてお話しします。また、これまで経験してきたさまざまな挑戦や、人とのつながりから得た学びについてもご紹介します。

現在取り組んでいる活動や今後の展望を交えながら、歯科技工士の技術をどのように社会へ活かしていけるのか、自身の経験をもとにご紹介します。資格や従来の働き方にとらわれず、自ら可能性を広げていくことは、一人ひとりが選択できる未来の形の一つです。

本講演が、歯科技工士という資格や技術の可能性を改めて見つめ直し、それぞれの新たな挑戦への一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。